

サイエンスビジュアライゼーション 第二回トークライブ



+ センス・オブ・コミュニケーション 木村 政司 日本大学芸術学部 教授

1978年に交換留学生として渡米、アメリカの大学院を修了。1985年から米国スミソニアン協会国立自然史博物館、ナショナルジオグラフィック誌の年間契約イラストレーターを経験、現在は大学で14年前からサイエンスコミュニケーションの講義と実習を実践し、コミュニケーションデザインの立場からサイエンス領域とのコラボや教育プログラム、企画、プロジェクト・プロデュースを行っている。



患者さんのためのデザイン “インフォメディカルウェア”

渡邊 敏之 名古屋造形大学 造形学部造形学科 教授
情報デザイナー・ディレクター

アニメーションやイラストレーション、グラフィックスによってコミュニケーションを良好にするデザインの研究。Web、インターフェイスデザイン、デジタルコミュニケーションが専門領域。



3次元ベクトル場のビジュアライゼーション —カオスの兆候を“編む”

蔡 東生 筑波大学システム情報工学系情報工学域 准教授

1990年 Stanford University, Ph.D. 取得、1992年筑波大学電子・情報工学系助手、1997年筑波大学電子・情報工学系助教授。Space Physicist & Engineer。共感覚、HPC、Viz、インタラクティブCG、日本庭園研究と幅広く興味を持つ。自称Imaginer。すべては“想像(Imagine)”することから始まるがモットー。Oscar Buneman Award, Prix Roberval Nominee

2013年2月9日〈土〉

14:00-17:00 筑波大学5C216 参加費無料

13:30 受付開始

14:00 オープニング 田中 佐代子 筑波大学系系 准教授

14:05 トーク 木村政司(14:05-)、渡邊敏之(14:50-)、蔡東生(15:35-)

16:20 総合討論

16:55 クロージング

司会進行:小林麻己人・三輪佳宏 筑波大学医学医療系 講師

主催:日本サイエンスビジュアライゼーション研究会

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~jssv/>

共催:新学術領域「蛍光生体イメージ」

☆17:00より5C216隣の学生控室にて交流会(参加費1,000円)を行います。
皆様のご参加をお待ちしています。

◎本トークライブ・交流会とも、筑波大学以外の一般の方々も参加できます。

問い合わせ先: science-visual@tara.tsukuba.ac.jp



つくばセンター[つくば駅]から「筑波大学中央」行き、または「筑波大学循環」バスに乗り、「筑波大学西」バス停で下車
*つくばセンターからの所要時間 約10分

